

大会運営ガイドライン

新型コロナウイルス感染防止対策

2022年4月1日 版



公益財団法人
日本バレーボール協会

目次

【1】基本理念

- 1. 基本理念 P3
- 2. 大会(講習会・研修会)の開催方針 P3
- 3. 参加者に求める感染拡大防止措置 P4
- 4. 大会当日受付時の留意事項 P5

【2】大会運営①

- 1. ゾーニング・動線 P6
- 2. 諸室(控室) P6
- 3. 手洗い場・洗面所等(トイレ) P6
- 4. 観客席 P7
- 5. 机・椅子の消毒・ゴミの破棄 P7
- 6. 競技関連(試合・練習) P8
- 6-1 競技に関する留意事項 P8

【3】大会運営②

- 1. 参加者の入館について P9
- 2. 健康チェックシートについて P9
- 3. 大会役員の受付 P10
- 4. 健康チェックシートについて P10

【4】大会運営③

- 1. 基本的な感染予防策 P11
- 2. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について P12
- 3. 観客の健康チェックについて P13
- 4. 観客の会場での注意事項 P14
- 5. 応援等で禁止する行為 P14
- 6. 応援等で容認する行為 P14

【1】基本理念

1. 基本理念

- ① 「日本バレーボール協会バレーボールガイドライン2020.0707-更新版」「感染防止策チェックリスト」「大会運営ガイドライン 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する感染防止策 2021年3月5日更新版」に則り、また、「厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について」および「内閣官房HP」を参考にしながら感染防止対策を講じたうえで大会の開催と運営を行ってください。
- ② 感染拡大の状況および政府や開催地都道府県、それぞれの施設管理会社の指針に基づいて主催者側を含めた関係部署での十分な協議が必要になります。感染リスクへの対応が整わない場合には、中止または延期するなど慎重に決定してください。
- ③ 大会の主催者は、障がい者や高齢者などを含む参加者それぞれの属性を勘案して、感染防止のために自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項を、適切な場所（大会の受付場所等）に掲示するとともに、各事項が遵守されているかを定期的に巡回・確認することにより、大会の主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止に取り組むことが必要です。
- ④ 感染者が発生した場合に備え、受付時に集めた健康チェックシート等の情報は個人情報保護に留意して保存期間（1カ月以上）を定めて主催者が保管してください。

2. 大会（講習会・研修会）の開催方針

大会等の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、以下の指針を基に判断いたします。

- 政府および開催地自治体の方針
- 緊急事態宣言の発令の有無
- イベント自粛要請
- 施設利用の自粛要請
- チーム関係者の状況
- その他競技団体の動向
- その他イベント開催の動向

新型コロナウイルス感染状況は刻々と変化しています。指針とは異なる事柄や指針にはないような状況に直面する場合もあるかと思われれます。その際は国や都道府県、関係省庁の指針だけではなく、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症について（参考1）、内閣官房HP（参考2.3）などからの情報に加えて、参加者や関係者の「安全・安心」を最優先に大会運営に当たってくださいようお願いいたします。

（参考1）https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

（参考2）<https://corona.go.jp/proposal/>

（参考3）https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220218.pdf

【1】基本理念

3. 参加者に求める感染拡大防止措置

大会および講習会・研修会等の主催者は参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めてください。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることを周知してください。なお、大会等の主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられます。

① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること（受付や着替え等の競技を行っていない時、また会話をする際には、マスクを着用すること）

- ・移動しているとき
- ・競技を行っていないとき
- ・ベンチにいるとき
- ・会話をするときにはマスクを着用してください

マスク着用をお願い

ウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いいたします。



③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと

- ・入館・退館時
- ・食事の前後
- ・トイレの後



④ 他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保すること（できるだけ2m以上）
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）



⑤ 感染拡大防止策のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

【1】基本理念

4. 大会当日の受付時の留意事項

大会の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることの防止や、安全に大会を開催するため、以下に配慮して受付事務を行う必要があります。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、入場を制限することも考えられる)
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスク（必要に応じてフェイスシールド）を着用させること



- ・大会当日2週間前からの検温記入欄
- ・基本的な健康チェック欄

健康チェックシート (運営関係者用/ノルス用) ©2020 日本サッカー協会

本健康チェックシートは、JFAの施設設備が整備する各スタジアム、練習場において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、試合前2週間前からの検温記録を収めるためのものです。
 本健康チェックシートに記入された個人情報は、収集目的に限定して、厳正なる管理のもとに保管し、本会、運営関係者等関係者の業務目的以外に、第三者に提供することはありません。また、個人情報が第三者に提供された場合は、本会、運営関係者等関係者から速やかにお知らせいたします。
 本会、運営関係者等関係者から速やかにお知らせいたします。

氏名	代表者	所属	性別	年齢	種別	種別
フリガナ	代表者	所属	性別	年齢	種別	種別
氏名	代表者	所属	性別	年齢	種別	種別
フリガナ	代表者	所属	性別	年齢	種別	種別

※本会当日までの検温記録

種別	検温時間	検温結果	種別	検温時間	検温結果	種別	検温時間	検温結果
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

※本会前2週間前からの検温記録 ※該当するものに「/」を記入してください。

チェック項目	チェック結果
① 平熱を越える発熱がない	
② 咳（乾咳）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、鼻閉（呼吸困難）がない	
④ 嗅覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が震え（ふるえ）、嘔吐や下痢等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症に罹患した者との濃厚接触がない	
⑦ 同僚や家族など身近な人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に海外から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、異なること（以下に自由記述）	

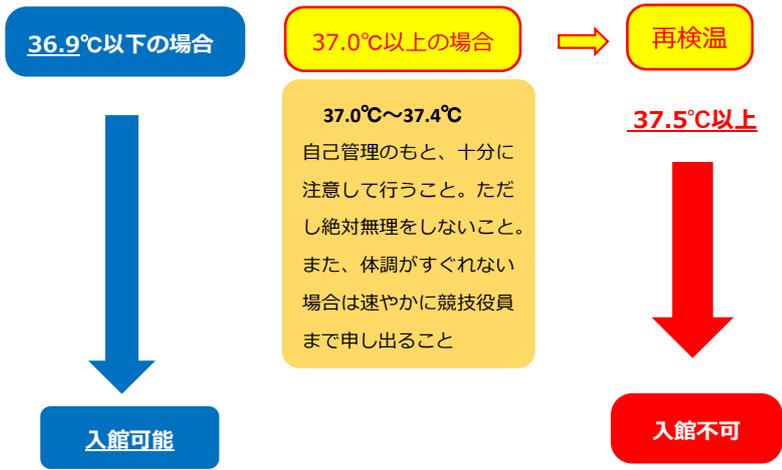
（※本会当日検温結果の欄に）検温者 検温場所

健康チェック者 氏名 _____

健康チェック者 代表者フリガナ _____

健康チェック者 所属 _____

健康チェック者 性別 _____ 年齢 _____ 種別 _____



【2】大会運営①

1. ゾーニング・動線（※試合会場のスペース等も考慮ください）

受付終了後、それぞれ控室・競技場に移動する際に、チーム（選手）と競技役員または観客との動線を区別し、更に会場のゾーニングと動線について使用する体育館等の状況に応じて設計をお願いします。

① 会場のゾーニングを徹底することで、感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。

ゾーン1：競技関連：コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア、選手入場口、選手および審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ等：運営スタッフ控室、プレス席（プレス控室）

ゾーン3：観客・保護者・応援団等：客席・保護者・応援団

2. 諸室（控室）

チーム控室、更衣室、競技役員控室、補助役員控室、荷物置き場など休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備をお願いします。

① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）

② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること

③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手やテーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること

④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

3. 手洗い場・洗面所（トイレ）

① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

② 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること

④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

⑤ 手指を乾燥させる設備については使用しないこと、参加者にマイタオルの持参を求めること

⑥ 洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。

⑦ トイレ内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること

⑧ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること

⑨ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

【2】大会運営①

4. 観客席

大会の観戦において観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが必要です。（感染防止安全計画を策定し、都道府県による確認を受けた場合、人数上限は収容定員まで、収容率の上限を100%とすることを基本とする。それ以外の場合は、人数上限5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方、かつ収容率の上限を50%[大声あり]又は100%[大声なし]とする。この場合、都道府県が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリストをイベント主催者等が作成・HP等で公表することとする）

- ① 大声での声援を送らないことや会話を控えてください。
- ② 会話をする場合にはマスクを着用することや外履き等の留意事項を周知ください。（アナウンスでの周知）
- ③ 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行ってください。試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要が出てきます。窓を開けながら行うとしても気温上昇にともない、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うことが大切です。具体的には空調設備や必要に応じて扇風機を活用するなどの工夫を心掛けてください。
- ④ ビーチバレーボールなど屋外で競技を実施する場合には、特に仮設テントなどの設置物に関して、換気の悪い密閉空間とならないように注意してください。また、更衣室などでテントを閉鎖して使用する場合においても、一度に使用する人数を制限し密集・密閉状態を避けるように表示するとともに関係者への周知徹底をお願いします。
- ⑤ 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えてください。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように注意喚起をお願いします。

5. 机・椅子の消毒・ゴミの廃棄

会場で使用する机・椅子の消毒については、使用前に必ず消毒を行ってください。

- ① チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行うこと。特に1日2試合以上開催の場合には試合間にもベンチの消毒を行ってください
- ② 観客席の消毒についても開場前、退場後に必ず消毒を行ってください。

- ・ 除菌スプレー
- ・ 除菌ウェットティッシュ
- ・ 雑巾
- ・ ペーパータオル など



- ③ ゴミの廃棄について、鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒を行ってください。

【2】大会運営①

6. 競技関連（試合・練習）

- ① 施設の定期的な換気を行ってください。
- ② 試合前後の握手は一礼で代替する。
- ③ 試合前後やタイムアウトでのベンチ集合時、できるだけ密集・接触を避ける。
- ④ ベンチおよびウォームアップエリアでは互いに間隔を取り、密を避ける。
- ⑤ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は控える。
- ⑥ ボールレトリバーを配置しない場合には、エンドライン後方にボールかごを設置し、サーバーがボールを取る形やベンチ側後方にかごを1台用意し、ウォームアップエリア内の選手がボール渡しを行う形で実施ください。
- ⑦ コート面のモップはチームで対応することにしますが、枝つきモップ（1本）を準備しておいてください。
- ⑧ ベンチは試合前、セット間、試合後はチームが消毒を行い、ネット・ボール・得点板は審判員および競技役員が試合間に消毒を行ってください。
- ⑨ 大きな声出しは控え、飛沫防止を徹底してください。
- ⑩ 競技中、靴底を手で触らないでください。
- ⑥ ビーチバレーボール競技に携わる競技スタッフ（サンドレベラー、レトリバー）の注意事項も明確にしておいてください。

6-1 競技に関する留意事項

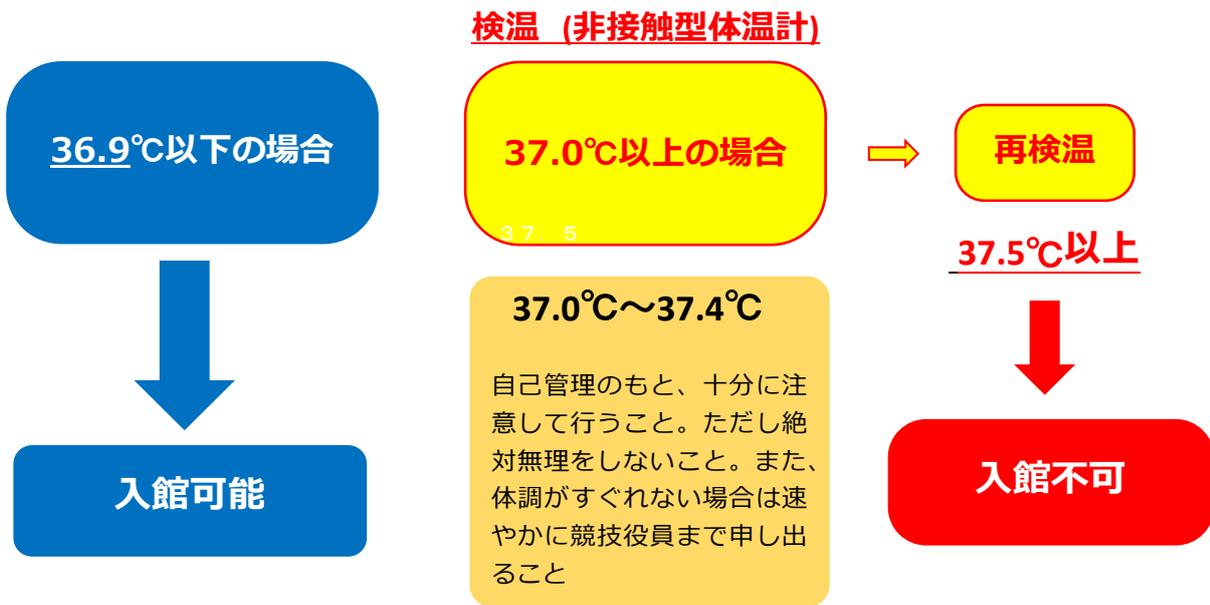
- ① 試合開始時、終了後は競技役員（係員）の指示で移動してください。
- ② 各チームで会場に持ち込む用具（練習球・トローリーなど）は、使用前後で必ず消毒を行ってください。
- ③ 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用してください。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。
- ④ 試合球のボール使用については主催者側が判断します。ワンボール・スリーボール・ファイブボールシステムなど、コートオフィシャルの人数に合わせて運用してください。また、コート内の床拭きなども状況に応じて、チームで対応してください。
- ⑤ タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避けてください。また、チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください（ゴミに関しては主催者側に確認ください）。
- ⑥ 試合終了後は、使用したベンチの消毒にご協力ください。
- ⑦ チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1席分を空けて座ってください。
- ⑧ ベンチは2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ⑨ ウォームアップエリアについてはベンチ後方に設置し、ソーシャルディスタンス確保の観点から、可能な限り4m×4mの広さを確保してください（人数に合わせて長方形での設置も可能です）。
- ⑩ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。

【3】大会運営②

1. 参加者の入館について

受付にて (IDパステック) → 手指の消毒 → 検温 → 健康管理シートの提出をお願いします。

健康チェックシート(大会2週間前～)の提出



2. 健康チェックシートについて

- 大会関係スタッフ/プレス/ご招待者・協賛社様
- ・大会当日2週間前からの検温記入欄
 - ・基本的な健康チェック欄

基本情報		代表者
氏名		連絡先
フリガナ		生年月日
氏名		性別
住所	〒	年
		月
		日
		(歳)
		電話番号
		Eメール
		アドレス

大会当日までの検温	
日付	記録時体温

大会前2週間における健康状態	
① 平熱を越える発熱がない	
② 咳 (せき) 、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ (倦怠感) 、息苦しさ (呼吸困難) がない	
④ 鼻水や咳の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症罹患性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同僚家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該居住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、異になること (以下に自由記述)	

(大会参加者が未成年の場合は) 保護者 確認欄

保護者 氏名 _____

電話番号 _____ Eメールアドレス _____

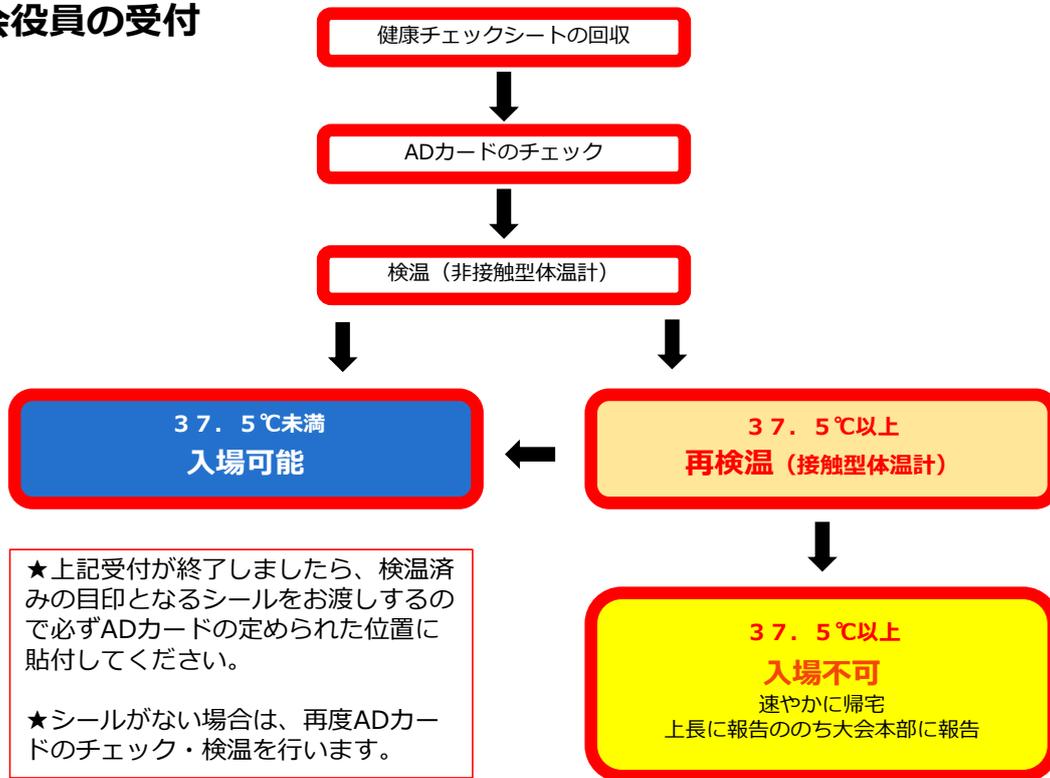
〒 _____ 郵便番号 _____

〒 _____ 住所 _____

〒 _____ 性別 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

【3】大会運営②

3. 大会役員の受付



4. 健康チェックシートについて

- 大会関係スタッフ／プレス／ご招待者・協賛社様
- ・大会当日2週間前からの検温記入欄
 - ・基本的な健康チェック欄
 - ・入館初日に提出する

公益財団法人 日本パレーボール協会

健康チェックシート（運営関係者用/プレス用）

本健康チェックシートは、大会当日会場へ入場する各関係者・観客等において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とし、本協会が健康状態を確認することを目的としています。
本健康チェックシートに記入した個人情報は、各協会及び主催者は、厳正なる管理のもとで管理し、大会・講習会等、運営関係者の健康状態の確認・健康管理にのみ使用させていただきます。また、個人情報は関係者等の許可なく第三者に提供される場合は、必ず事前で御承諾に同意していただきます。但し、大会場にて緊急応急患者またはその他、危険のある方が発見された場合は、必要に応じて関係者に提供させていただきます。

氏名		代表者	
所属		連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日 (歳)
住所		電話番号	
		Eメール	アドレス

※大会当日までの検温

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()
/ ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()	℃ / ()

※大会前2週間における健康状態 ※該当するものに「V」を記入してください

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（乾咳）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ たるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 劇症型肺炎の症状がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同級生や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に旅行から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

（大会当日会場へ入場する場合） 氏名 姓 名 姓 名 姓 名 姓 名 姓 名 姓 名
電話番号 Eメール アドレス
種別 性別 年齢 所属

【4】大会運営③

1. 基本的な感染予防策

- ① 関係業者、大会関係スタッフ数が必要最小限になるよう調整する。
- ② マスクを持参し、館内では着用する。
- ③ 主審、副審は事前検査を実施する。（Vリーグ、天皇杯・皇后杯大会等で実施）
- ④ その他、選手と近い接触が予測される役員(競技役員)はフェイスシールドを着用する。
- ⑤ 大会期間中（移動するとき、競技を行っていないとき、ベンチにいるとき、会話をするときを含む）はマスクを着用する。
- ⑥ 小まめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。（入館・退館時、食事の前後、トイレの後、競技後など）
- ⑦ 食事時は密を避け、黙食を徹底する。
- ⑧ 他者との距離（できるだけ2m以上）を確保する。 ※障がい者の誘導や介助を行う場合を除く
- ⑨ 大会中および大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者へ速やかに報告する。 連絡先：(公財)日本バレーボール協会 天皇杯大会事務局 tk-jimu@jva.or.jp
- ⑩ ADカードはイベント後返却不要とする。※当日申請は行わない。
- ⑪ 出入口に顔認証検温器／非接触体温計を設置し、入館時に検温を行う。
- ⑫ 入館時に健康チェックを行う。 ※大会前2週間における以下事項の有無
 - ア) 37.5℃を超える発熱 ※超える場合は入場できません
 - イ) 咳や喉の痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - ウ) 身体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - エ) 新型コロナウイルス感染症と診断されたものとの濃厚接触がある
 - オ) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方がいる⇒ア)～オ)に該当がある場合は入場不可
- ⑬ 関係者のうち、入国対象者との間で濃厚接触者となりえる接触のあった者は、活動終了後14日間自主隔離をする。（※濃厚接触者にならない者も、14日間の健康観察を実施する。）

【4】大会運営③

2. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について

- (1) 新型コロナウイルス感染症が心配なとき、発熱・咳・咽頭痛などの症状で体調が悪い場合は、かかりつけ医のいる方は、かかりつけ医（病院）に電話でご相談ください。また、都道府県の発熱相談センターや厚生労働省の下記新型コロナウイルスに関する相談・医療の情報や受診・相談センターの連絡先を参照ください。

《参考》 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

- ① 各地域における医療機関・新型コロナウイルス受診相談窓口の受付時間や電話番号等は事前に確認しておくこと（休日・夜間等も）
 - ② 医療機関の診療および検査結果において、陽性者と診断された場合には、保健所および医療機関の指示に従う
- (2) 新型コロナウイルスは潜伏期間（発症の2～3日前）から他人に感染させる可能性があります。その期間に接触のあった方は、保健所から連絡により、濃厚接触者と認定される場合があります。また、感染してから発症するまでの潜伏期間は1日～14日（平均5日）です。感染源を探す際、14日間の行動（対人接触）をさかのぼってモニターすることになります。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関わる窓口は、保健所および医療機関になります。これらの指示により対応することになります。

《参考》

- 厚生労働省 ➡ 健康や医療相談の情報 / 感染防止と医療提供体制の整備

【4】大会運営③

3. 観客の健康チェックについて

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の項目に該当する方は入場不可とする。

[1]過去1週間以内から現在までに下記ア)～カ)を含む体調不良のある方

ア) 37.5℃を超える発熱 ※超える場合は入場できません

イ) 咳や喉の痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

ウ) 身体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等

エ) 新型コロナウイルス感染症要請とされたものとの濃厚接触の有無

オ) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

カ) 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要されている国・地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触の有無

[2]PCR検査陽性歴がある方で、下記①～④のいずれか1つでもあてはまる方

①有症状者で、発症日から10日未満、かつ、症状軽快後72時間以内

②有症状者で、症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認できていない

③無症状病原体保有者で、陰性確認から10日未満

④無症状病原体保有者で、検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ2回のPCR検査陰性を確認できていない

[3]新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触者

[4]同居する家族が濃厚接触者

[5]家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。又は、家族に[1]ア)～カ) いずれかの体調不良がある

[6]過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への滞在または当該地域等在住者との濃厚接触がある

[7]マスク非着用の方

【4】大会運営③

4. 観客の会場での注意事項

- ① 来場時、試合観戦時には必ずマスクの着用をする。（飲食時のみを除く）
- ② 観客同士の距離を確保するため、座席の間隔を空けて入場券を販売する。
- ③ 観戦終了後も座席番号等が確認できるよう、最低14日間はチケットを保管する。
- ④ 入退場の際は係員の指示に従う。
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール消毒液による手指消毒、咳エチケットの遵守の徹底。
- ⑥ 会場内の移動はできるだけ最小限に留め、不要な移動は控える。移動する際、入退場の際は人との距離を十分に確保。
- ⑦ 館内での食事は原則禁止とする。（軽食は可）
- ⑧ 感染防止のため、日本バレーボール協会が決めた事項・指示に従う。
- ⑨ 感染拡大防止の観点から、選手が会場内へ入退場する際の出待ちや選手への差し入れ等は禁止。
- ⑩ 接触確認アプリCOCOAの使用を推奨する。
- ⑪ 自由席の座席移動は極力控える。

5. 応援等で禁止する行為

- ① 声を出しての応援、メガホンの利用
- ② マスクを外した応援（指笛など）
- ③ 人と接触する応援（ハイタッチ・肩組みなど）
- ④ 大旗を振る
- ⑤ 応援マフラータオルを振り回す
- ⑥ スティックバルーンの使用（息で膨らませるため）

6. 応援等で容認する行為

- ① 拍手や手拍子
- ② 応援マフラータオルや応援うちわを自席で掲げる